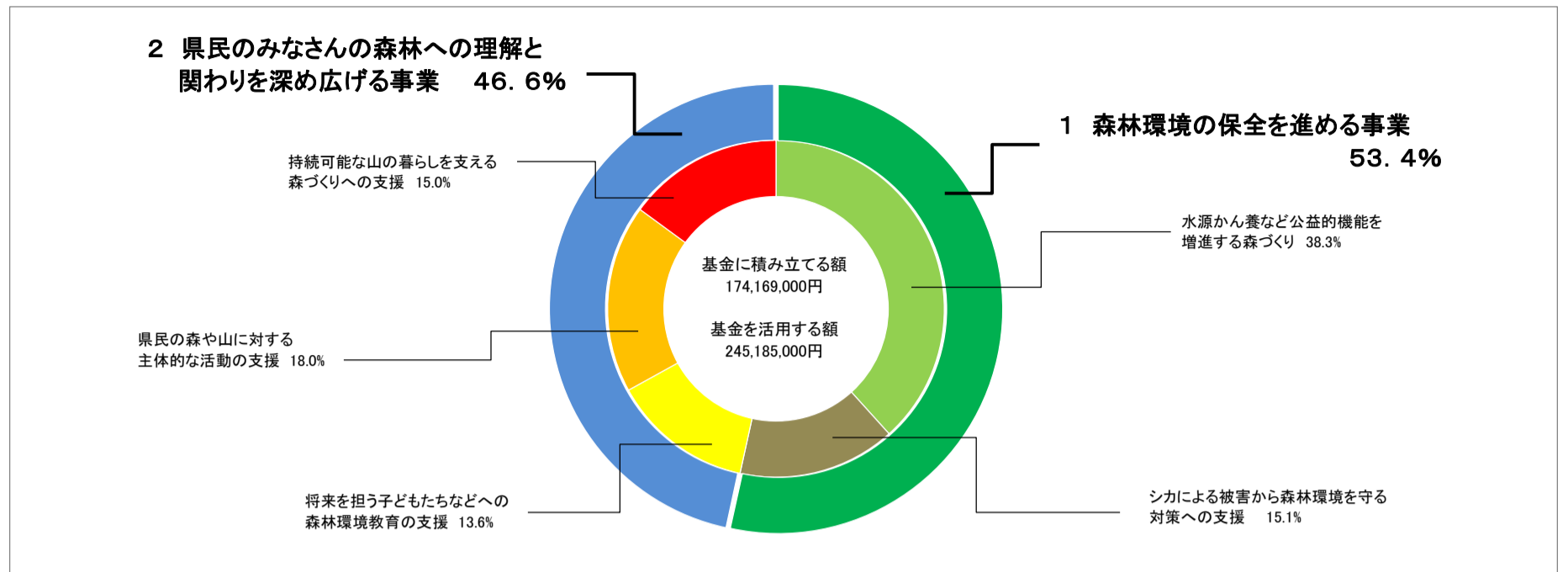


令和2年度 森林環境税の活用について（予算額）

資料1(参考)

県民の皆様からお預かりした森林環境税で、森林の公益的機能が高めるための間伐や、シカ被害対策などの「1 森林環境の保全を進める事業」と、小中学校などで行われる森林環境教育や「こうち山の日」の取り組み、公共的施設の木質化などの「2 県民の森林への理解と関わりを深め広げる事業」の2つの事業を柱に取り組みます。



[内 訳]

■基金に積み立てる額 174,169,000円		内容	内訳
積立金	予算額		
森林環境保全基金積立金	174,169,000円	森林環境保全のための森林環境税の経理を区分するとともに、森林環境税による事業を計画的、効率的に実施するため、その税収相当額を基金に積み立てます。	森林環境保全基金積立額 174,169,000円
	(一) 174,000,000円		・森林環境保全基金造成額 174,000,000円
	(財) 69,000円		・運用益積立額 69,000円
	(寄) 100,000円		・寄附金積立額 100,000円

■基金を活用する額 245,185,000円		内容	内訳
事業名(担当課名)	予算額		
1 森林環境の保全を進める事業	130,985,000円		
(1) 水源かん養など公益的機能を増進する森づくり	93,864,000円		
①公益林保全整備事業	23,000,000円	水源かん養機能などの公益的機能が高い人工林(11~60年生)の保育間伐を推進することで、荒廃森林の発生を防止し、森林の持つ公益的機能が効果的に発揮されるよう森林の整備を行います。	公益林保全整備事業費補助金 23,000,000円
(林業振興・環境部 木材増産推進課)	23,000,000円		
②みどりの環境整備支援事業	20,000,000円	CO2吸収機能の高い人工林(11~45年生)の除間伐を促進します。	みどりの環境整備支援交付金 20,000,000円
(林業振興・環境部 木材増産推進課)	20,000,000円		
③造林事業(環境林整備事業)	40,400,000円	森林所有者の自助努力では適切な森林整備が期待できない森林において、森林所有者に代わって森林組合等が実施する人工林(11~60年生)の保育間伐を支援。	造林事業費補助金(環境林整備事業) 40,400,000円
(林業振興・環境部 木材増産推進課)	40,400,000円		
④森林・山村多面的機能発揮対策支援事業	10,464,000円	里山林の保全管理や資源を利用する活動を支援する国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金による地域での取り組みを支援します。	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費補助金 10,464,000円
(林業振興・環境部 林業環境政策課)	10,464,000円		
(2) シカによる被害から森林環境を守る対策への支援	37,121,000円		
⑤シカ捕獲推進事業	21,710,000円	国有林内の自然植生被害が著しい高標高域等の国有林内の鳥獣保護区でのシカ捕獲を推進し、自然植生被害の早期回復を図ります。また、科学的根拠に基づく計画的なシカの管理を行うため最新のシカの個体数を推定するための生息状況調査を実施します。	指定管理鳥獣捕獲等事業委託料 5,995,000円 シカ個体数調査委託料 15,715,000円
(中山間振興・交通部 鳥獣対策課)	21,710,000円		
⑥希少野生植物食害対策事業	15,411,000円	ニホンジカによる希少野生植物の食害被害を防止するため、現状調査や防護ネットを設置します。また、設置箇所のモニタリングを継続して行います。	希少野生植物食害防止対策(調査業務)委託料 2,263,000円 希少野生植物食害防止対策(防護施設設置業務)委託料 1,939,000円 希少野生植物食害防止対策(モニタリング調査業務)委託料 5,665,000円 希少野生植物食害防止対策(石鎚山系保護指針策定)委託料 5,544,000円
(林業振興・環境部 環境共生課)	15,411,000円		
2 県民の森林への理解と関わりを深め広げる事業	114,200,000円		
(1) 将来を担う子どもたちなどへの森林環境教育の支援	33,273,000円		
⑦環境学習推進事業	4,840,000円	親子の自然体験活動等の機会の提供や小中学校の宿泊体験活動を支援します。またH30年度までに育成した体験活動指導者を本事業及び各種団体が行う活動に講師として派遣します。	自然体験型学習事業 3,846,000円 子ども地域学習推進事業 994,000円
(教育委員会事務局 生涯学習課)	4,840,000円		
⑧森林環境保全事業	1,822,000円	都市部に在住する子どもたちに森林保全の重要性を体験を通じて理解してもらい、森林保全を支援する人材を育成します。	高校生森林環境理解事業 1,087,000円 高校生後継者育成事業 735,000円
(教育委員会事務局 高等学校課)	1,822,000円		
⑨山の学習支援事業	26,611,000円	小中学校が行う森林環境教育を支援します。	山の学習支援事業費補助金 23,530,000円 ハンドブック作成委託料 3,081,000円
(林業振興・環境部 林業環境政策課)	26,611,000円		
(2) 県民の森や山に対する主体的な活動の支援	44,237,000円		
⑩森づくりへの理解と参加を促す広報事業	17,519,000円	幅広い県民を対象に、森林環境保全の意識を理解し、関心を深めていただくための情報発信等を行います。	森林環境情報誌作成等委託料 7,321,000円 森林環境情報誌作成等事務費 83,000円 森林環境学習フェア開催委託料 9,082,000円 森林環境学習フェア開催事務費 83,000円 森林環境教育副読本作成委託料 950,000円
(林業振興・環境部 林業環境政策課)	17,519,000円		
⑪こうち山の日推進事業	13,288,000円	県民一人ひとりが森林や山を守る活動の重要性に対する理解と関心を深めていただくための「こうち山の日(11月11日)」を中心に、県民が主体となって行う活動を支援します。	こうち山の日推進事業費補助金 7,857,000円 こうち山の日県民参加支援事業委託料 5,131,000円 インターネットホームページ保守管理委託料 300,000円
(林業振興・環境部 林業環境政策課)	13,288,000円		
⑫木育指導員活動支援事業	2,094,000円	県内での木育を推進することにより、木に対する親しみや関心を持ってもらうため、幼児等に対して行う木育の活動を支援します。	木育指導員活動支援事業費補助金 2,094,000円
(林業振興・環境部 林業環境政策課)	2,094,000円		
⑬シカ被害対策啓発事業委託料	5,876,000円	シカが自然環境に与える影響や頭数管理の重要性について広く啓発し、その担い手である狩猟者の確保に向けた取組としてフォーラム、体験ツアー及び高校生等を対象とした出前授業を行います。	シカ被害対策啓発事業委託料 5,490,000円 事務費 386,000円
(中山間振興・交通部 鳥獣対策課)	5,876,000円		
⑭希少動物保護対策事業(普及啓発事業委託料)	3,586,000円	広く県民に高知県の自然環境及び生物多様性の保全の必要性などの広報を行います。	普及啓発事業委託料 3,586,000円
(林業振興・環境部 環境共生課)	3,586,000円		
⑮運営委員会等開催費	1,216,000円	県民意見の反映や森林環境保全基金の透明性を確保するための運営委員会を開催します。	運営委員会開催等事務費 1,216,000円
(林業振興・環境部 林業環境政策課)	1,216,000円		
⑯林業大学校研修事業費	658,000円	森林保全ボランティア活動を行う方を対象に、作業安全研修を実施します。	林業大学校(短期課程)研修業務等委託料 658,000円
(林業振興・環境部 森づくり推進課)	658,000円		
(3) 持続可能な山の暮らしを支える森づくりへの支援	36,690,000円		
⑰木の香るまちづくり推進事業	36,690,000円	県内の幼稚園、保育園、小中学校、高等学校や大学及び公共的施設における木製品の整備や内外装の木質化及び屋外景観施設等の木造施設の整備を支援します。また、市町村等が乳幼児に配布する木製玩具等の購入に要する経費を支援します。	木の香るまちづくり推進事業費補助金 36,404,000円 事務費 286,000円
(林業振興・環境部 木材産業振興課)	36,690,000円		